



## ◇『令和元年度 ロジ研表彰受賞者を祝う会』

副本部長・企画副委員長 半田 一恵  
〔中央支部 (株)入船物流システム〕



毎年真夏に恒例の関東運輸局長表彰・東京運輸支局長表彰受賞者を祝う納涼会。ロジ研での仲間を祝う雰囲気は、歳月を経て出来上がっている。数年前までは祝う(チャチャを入れる)側だったのに、今年は祝ってもらえる(チャチャを入れられる)側。何だか感慨深いものがある。この表彰も、先輩方から色々んな事(良いも悪いも?)を学んだ結果だと、個人的には勝手に思っている。そういう意味ではこの会の継承も悪くはないのかも?

さて、某広報委員長から「1,200文字以上な!」とのお達し(極度のプレッシャー)も出ているので、長〜い前置きはこのくらいにして、自分の所感を少々述べたいと思います。能力がないので論理的に簡潔に書くことが出来ませんが、受賞者という事で勘弁して下さい。

とにかく近年の運送業界は変化の連続。業界の役割自体も変わってきているように思うし、対応力が求められていると感じています。早い周期(人材不足等)で「ピンチ」にも「チャンス」にもなり、どっちに転がるかわからない。また、法規制・コンプライアンスもより厳格になり、SNSの影響で今まで考えもしなかったことが大きいリスクとして突きつけられることも。みなさんもお存じの通りです。世間の捉え方も主観的に白(ホワイト)なのか黒(ブラック)なのかを勝手に決める傾向になっており、そう考えると今の時代、いい意味で「いかに業界に適した許容範囲(グリーゾーン)を広く作る事ができるか」が、業界全体の力量を因る鍵となるのではないのでしょうか。

現在も管轄官庁の皆様と勉強会や意見交換会などをおこなっていますが、より細かく専門的な話し合いやアイデアを出し合う関係性を強く築くことで、業界に適した許容範囲を作り出すことに繋がると考えます。「許容範囲を広げる」といっても、そんなに簡単なことではないでしょう。あらゆる角度から考えなければならぬし、とても難しいことだと思います。

しかし、ロジ研には凄いメンバーが揃っていると思うので、アイデアを出す機会さえ増えれば、いろいろと出てくるのではないのでしょうか。私自身も参加した時は、みなさんから何かしらのエネルギーを貰っています。(時には疲れ切って帰ってくることもあります…)

冒頭にも書きましたが、仲間を祝うことが出来る環境は本当に素晴らしいことだと思います。この仲間と業界発展のため、少しでも動くことが表彰を受けた意義なのかなと思っています。

最後に人形浄瑠璃文楽・人間国宝 故・竹本住大夫(すみたゆう)氏の言葉で「一生やっても報われなくても、やると決めていくのが修行」この精神が大事かと。

## ◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 9/14(土)~15(日) トラックフェスタ TOKYO 2019 (代々木公園)
- 9/24(火) 15:30~ 正副本部長会議(東ト総合会館6階研修室)
- " 16:30~ 本部連絡会(東ト総合会館6階研修室)
- 10/18(金)~19(土) 温故創新セミナー(長崎)



左から加賀氏(支局長賞)、松本氏(局長賞)、飯沼自動車交通部長、鈴木氏(局長賞)、山田氏(局長賞)、浅井会長、半田氏(局長賞)、高山支局長、田澤氏(支局長賞)、田中本部長



締めの日陣

## ◇『近畿トラック青年協議会OBとの意見交換会』

副本部長・総務委員長 大島 弥一  
〔新宿支部長 大島運輸(株)〕

8月3日(土)ロジ研の活動としては初の地方遠征となる、近畿トラック青年協議会(KTS)OBとの意見交換会を、京都の貴船にておこないました。ロジ研からは、田中本部長を始めとする正副幹事等11名、近畿のOBは30名にも及ぶ大所帯で、集合場所の京都駅八条口よりマイクロバス2台による大移動となりました。

最初の1時間は屋内で各自自己紹介、その後、川床に移動し、ロジ研メンバーがそれぞれ各テーブルに着き、他府県の方々とロジ研の意義や活動についての説明や意見交換ができ、非常に意義のある時間を過ごせました。

元々は、松本元本部長がロジ研を全国組織に…という思いで当時より大阪には打診していましたが、昨年ようやく「一通り役職も終わり時間ができ、何か活動したいから話を聞かせてくれ」というオファーが近畿の青年部時代からの仲間からあり、今回の意見交換会を実現することが出来ました。一つの組織を新たに作ることは非常に難しく大変ですが、大阪ト協の専務理事も同席してくださり「今後取りまとめていきますので、また情報を下さい」と仰っていただきましたので、機会があれば、今度は大阪へも遠征したいと考えています。



2次会では、1時間半ほど更に懇親を深めさせていただきました。(私は翌日の帰京が早かった為ここまでです)それでも物足りないロジ研の精鋭達は、その後も、KTSのOBと祇園の街へ消えていきました(;^\_^A

